



燃費テスト報告書 トップトルク・ハイパワー さらに「燃費改善」

P.B.S パワーブーストシステム搭載



PAE-050/051/052シリーズ XV/XVハイブリッド用馬力向上・燃費改善マフラー

- XVガソリン PAE-050シリーズ 右ダブル出し燃費改善率+11.7%
- XVガソリン PAE-051シリーズ 左右2本出し燃費改善率+12.4%
- XVハイブリッド PAE-052シリーズ 右ダブル出し燃費改善率+13.3%
- XVハイブリッド PAE-051シリーズ 左右2本出し燃費改善率+13.1%

総走行距離 一般道路 31.4km (21.0%)
149.5Km 高速道路 93.1km (62.3%)
山間道路 25.0km (16.7%)

XVガソリン車の場合 パワー/トルク/音量/重量データ (PAE-050シリーズ 社内データ)

装着マフラー	パワー (ps)	トルク (kg・m)	7ftリッジ音量 (dB)	近接音量 (dB)	重量 (kg)
ノーマルマフラー	156.5	17.8	58.0	80.0	7.1
GANADOR P.B.Sマフラー	164.8	18.9	64.0	81.0	7.6

XVガソリン車の場合 燃費対比テストデータ (PAE-050シリーズ 社内データ)

装着マフラー	テスト日	天候	走行距離 (km)	給油量 (L)	燃費改善率
ノーマルマフラー	2014/1/21	晴れ	149.5	10.29	...
GANADOR P.B.Sマフラー	2014/1/21	晴れ	149.5	9.21	11.7% 改善



●当社実走行燃費比較テスト内容

お客様ご自身で検証を行う際は、下記ポイントを参考にして正しい方法で行って下さい。

① テスト環境 (強風・雨・渋滞では中止)

悪天候の時はダメ 同じコンディションで測定しています。

- 同じ気温・気象条件で行っています。
- 強風・雨天などの悪天候、朝夕のラッシュ時を避け、同じ条件の日に実施。
- ➡ 途中で渋滞や強風が発生したら中止し、初めからやり直します。

② 走行条件 (距離・速度を適正に保つ)

一般道や高速道路や山道をおりませています。

- 【走行距離】当社参考データ
一般道 31.4km (約21%)
高速道路 93.1km (約62%)
山道 (登り・下り) 25.0km (約17%)
※一般道のみでの走行や距離が短すぎる場合、測定精度が落ちます。
- 【速度設定】当社参考データ
一般道及び山道は、交通法規に準じ、流れに合わせます。
高速道路は、法定速度にて巡航。

③ 満タン法 (同じ給油条件)

車両のタイヤ位置と向きを同一にし、同じ油面で給油しています。

- 燃費対比テストは最も正確と思われる「満タン法」で行っています。
- ※給油時の注意
同一のスタンドにて、同じ車両の向き、同じタイヤ位置で停車し、同じ油面で正確に給油し計測しています。
(車載の燃費メーターでは正確に測定できませんので要注意です。)
- 走行距離 (km) ÷ 給油量 (L) = 燃費 (km/L)
➡ 満タン給油時にオドメーターをリセット。

④ 運転方法 (加速度と所要時間が同じであることを同じに行なう)

ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒で加速しています。

- 同じ距離を、同じ加速、同じスピード、同じ所要時間でテストしています。
- 【良い例】例えば、ノーマルで50km/hまでの加速時間が50秒の時、ガナドールマフラーの時も同じ50秒かけて加速するのが比較条件。
- 【悪い例】加速が早く、所要時間が短かった場合、アクセルを踏み込み過ぎているので比較テストになりません。
- ➡ 省エネ効果が得られません。

同じ条件での運転で比較した場合、11.7%改善しました。 PAE-050シリーズ 社内データ

表記データは上記コース及び条件で当社の計測した結果です。